最新補聴器マーケット動向

世界には推定約7億人の難聴者がいると言われていますが、世界で使用されている補聴器の数はおおよそ8000万台。難聴者で補聴器の恩恵をうけているかたは約8%しかいないと言われています。また、中でも日本の補聴器普及率は欧米の半分以下であり、例えば2012年の米国の補聴器出荷台数285万台に対して日本は約52万台と普及が遅れている状況です。

世界の主要な補聴器市場 2012 (台数)

ただ近年、高齢者の増加に伴い、補聴器の販売台数は徐々に微増しています。2013年度の出荷台数は年間を通じて前年を2％程上回る数字を残す結果となりました。また、金額面では全体で約6％以上の伸び（平均単価では約3千円のアップ）を示し、景気の回復と共に購入金額が上がってきていることを表しています。  
　タイプ別のシェアでは、2012年から2013年のみをみると、耳あな型のシェアが台数で5%程度の下降を示している一方で、耳かけ型のシェアは2％程度アップしています。ただ、ここ10年ほどをみると耳あな型のシェアも伸長しており、両者のシェアは均衡しています。耳あな型と耳かけ型、どちらが良いかはユーザーの製品特徴に対するプライオリティ（目立たない、付け心地、音の自然さやボリューム感など）によります。

2013年度 日本補聴器工業会出荷統計